



Paquita/Contact/
Soirée de Ballet/Campanella/
'Still Life' at the Penguin Café

芸術監督: 吉田 都

Artistic Director: YOSHIDA Miyako

指揮: 富田実里

Conductor: TOMITA Misato

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

協力: 独立行政法人 国立科学博物館

【第1部】『パキータ』Paquita

振付: マリウス・プティパ 音楽: レオン・ミンクス

Choreography by Marius PETIPA Music by Leon MINKUS

【第2部】『Contact』

振付: 木下嘉人

Choreography by KINOSHITA Yoshito

音楽: オーラヴ・アルナルズ

Music by Ólafur ARNALDS

『ソワレ・ド・バレエ』Soirée de Ballet

振付: 深川秀夫

Choreography by FUKAGAWA Hideo

音楽: アレクサンドル・グラスノフ

Music by Alexander GLAZUNOV

『カンパネラ』Campanella

振付: 貝川鉄夫

Choreography by KAIKAWA Tetsuo

音楽: フランツ・リスト

Music by Franz LISZT

【第3部】『ペンギン・カフェ』'Still Life' at the Penguin Café

振付: デヴィッド・ビントレイ

Choreography by David BINTLEY

音楽: サイモン・ジェフス

Music by Simon JEFFES

2021年 1/9(土)14:00. 1/10(日)14:00. 1/11(月・祝)14:00.

THE NATIONAL BALLET OF JAPAN

新国立劇場バレエ 2020/2021 シーズン 新国立劇場バレエ団
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2020/2021 SEASON

ニューイヤー・バレエ

パキータ/Contact/ソワレ・ド・バレエ/
カンパネラ/ペンギン・カフェ

新春に相応しい華やかなバレエの祭典

2021 年の新春は新国立劇場バレエ団では定番となりつつある「ニューイヤー・バレエ」で幕を開けます。久方ぶりの上演となる古典バレエの『パキータ』では、新春らしい華やかな踊りの数々を楽しめます。また、ビントレーの人気作『ペンギン・カフェ』も待望の再演。“SDGs”や“サステナビリティ”が社会のあり方として問われているまさに今、必見といえる作品です。

小品集では、本年 9 月に逝去した故・深川秀夫振付の『ソワレ・ド・バレエ』を追悼の意を込めて再演いたします。さらに、新国立劇場バレエ団ダンサーにより振付された作品の中から、『Contact』『カンパネラ』を上演します。

古典から新作まで、新国立劇場バレエ団ならではの、多面的な魅力を存分に堪能できるプログラムにぜひご期待ください。

なお、本公演は「Go To イベントキャンペーン」の対象となりました。12 月 5 日より対象公演のチケットを、お得な Go To イベントキャンペーン割引価格でお求めいただけます。



※当初発表していたプログラムから演目を変更いたしました。

作品紹介

第 1 部

『パキータ』

振付：マリウス・プティパ

音楽：レオン・ミンクス

出演：米沢 唯、渡邊峻郁 <1 月 9 日（土）、11 日（月・祝）>
木村優里、井澤 駿 <1 月 10 日（日）>

ロシア・バレエの伝統美を堪能する

新国立劇場では 2003 年初演以来 18 年ぶりの上演となります。当作品はスペインを舞台としたロマの娘の恋物語で、ロマンティック・バレエ時代の 1846 年にパリ・オペラ座で初演されました。近年、パリ・オペラ座バレエによって復元上演されるまでは、プティパ振付版の一部のみが伝えられていました。主役のパキータがめでたく結婚式を挙げる最終場面でのグラン・パを中心に、ソリストたちの華やかな踊りが次々と繰り広げられます。



©Takuya Uchiyama

第2部

『Contact』

振付：木下嘉人

音楽：オーラヴル・アルナルズ

出演：小野絢子、木下嘉人 <1月9日（土）、11日（月・祝）>
米沢 唯、渡邊峻郁 <1月10日（日）>

新国立劇場バレエ団ダンサーによる新作がいよいよ上演

新国立劇場バレエ団から振付家を育てるプロジェクト<NBJ Choreographic Group>から生まれ、公演中止となった2020年3月「DANCE to the Future 2020」にて上演予定だった作品。人と人との触れ合いを男女のデュエットで描きます。



『ソワレ・ド・バレエ』

振付：深川秀夫

音楽：アレクサンドル・グラズノフ

出演：池田理沙子、中家正博

日本バレエの先駆者・深川秀夫による情緒溢れる作品

ダンサー、振付家として国際的に高い評価を得た深川秀夫による振付作品です。グラズノフ作曲の音楽と共に星空の下叙情的な踊りが展開される1983年に初演された作品を、ガラ公演用に一部抜粋したパ・ド・ドゥです。



『カンパネラ』

振付：貝川鐵夫

音楽：フランツ・リスト

出演：福岡雄大 <1月9日（土）、11日（月・祝）>
速水渉悟 <1月10日（日）>

再演を重ねた作品が、オペラパレスという大舞台で進化する

<NBJ Choreographic Group>で幾つもの作品を創作し、2016年「ニューイヤー・バレエ」で『フォリア』を上演、森山開次演出・振付『竜宮 りゅうぐう』では振付補佐を務めるなど、振付家としての活躍が期待される貝川鐵夫による作品。「DANCE to the Future 2016」で初演、19年にも小劇場にて再演された、スピード感あふれる男性ソロです。



第3部

『ペンギン・カフェ』

振付：デヴィッド・ビントレー

音楽：サイモン・ジェフス

出演：

【ペンギン】広瀬 碧

【ユタのオオツノヒツジ】米沢 唯

【テキサスのカンガルーネズミ】福田圭吾

【豚鼻スカンクにつくノミ】五月女遥 <1月9日（土）、11日（月・祝）>
奥田花純 <1月10日（日）>

【ケープヤマシマウマ】奥村康祐

【熱帯雨林の家族】本島美和、貝川鐵夫 <1月9日（土）、11日（月・祝）>
小野絢子、中家正博 <1月10日（日）>

【ブラジルのウーリーモンキー】福岡雄大



“サステナビリティ”が浸透した今だからこそ観てほしい！ 楽しくもチクリと現代を風刺する傑作バレエ

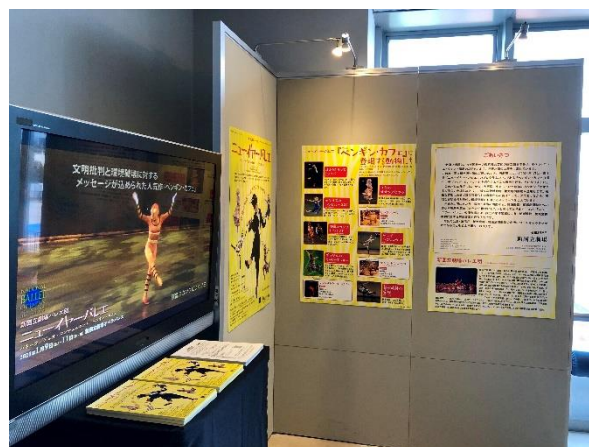
元芸術監督のビントレーの代表作のひとつで、とても軽妙洒落な作品です。80年代に一大センセーションを巻き起こしたワールド・ミュージック・アンサンブル「ペンギン・カフェ・オーケストラ」の音楽を使用。

ウェイター姿で登場するペンギンをはじめ、ねずみ、羊が次々に陽気なダンスを披露していきますが、実はすでに絶滅した動物、あるいは絶滅危惧種ばかり。可愛らしい動物の仮面を被って踊るダンサー、ポップで心地よい音楽で上演される作品の根底には、痛烈な文明批判と現代の環境問題にも通じるメッセージが含まれています。

国立科学博物館に『ペンギン・カフェ』の紹介ブースが登場！

今回の上演が、絶滅動物・絶滅危惧動物の危機について考えるきっかけとなることを願い、科学的な側面からも関心や理解を深めていただくため、国立科学博物館のご協力をいただいています。

現在、国立科学博物館 地球館3階にて、『ペンギン・カフェ』紹介ブースが設置されています。なお、国立科学博物館 地球館3F<大地を駆ける生命>では、『ペンギン・カフェ』に登場する、フンボルトウーリーモンキーやビッグホーン等の剥製も展示されています。



紹介ブースの様子

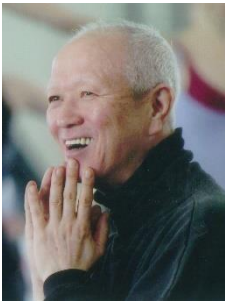
スタッフプロフィール

【パキータ 振付】マリウス・プティパ Marius PETIPA



1818年フランス・マルセイユ生まれ。舞踊家、舞踊教師、振付家。13歳のときに父の作品で舞台デビューを果たし47年にサンクトペテルブルグの帝室ポリショイ劇場に招かれた。55年からは父の後任として、劇場附属バレエ学校で、踊りと得意としていたマイムの教師を兼任している。62年に振り付けた『ファラオの娘』が大成功し、副バレエ・マスターに就任。69年にはサン＝レオンが退任したため、首席バレエ・マスターとなる。以後『ドン・キホーテ』（1869）、『ラ・バヤデール』（1877）、『眠れる森の美女』（1890）、『白鳥の湖』（1895、イワノフと共作）、『ライモンダ』（1898）など、数々の傑作を残しロシア・バレエの伝統を確立した。1903年初演の『魔法の鏡』まで、改訂振付を加えれば70以上の作品をロシアで振り付けている。1910年死去。

【ソワレ・ド・バレエ 振付】深川秀夫 FUKAGAWA Hideo



名古屋出身。14歳の時、越智バレエ団でバレエを始める。ジャン・クロード・ルイーヌ、ジョン・クランコ、ノラ・キッス、ユールゲン・シュナイダーの各氏に師事。1969年第1回モスクワ国際バレエコンクールにて銀賞と同時にS.リファールよりニジンスキー賞を受賞。70年東ベルリンコミッションオペラにソリストとして契約。同年第5回ヴァルナ国際コンクールで第2位を受賞し、シュツットガルト・バレエ団に入団。さらにミュンヘン国立オペラ・バレエ劇場のエトワールとして契約、ヨーロッパを中心に世界各地の舞台にゲスト出演し、N.ポントワ、F.クレール、L.コリア、M.チェルカスキー等と共演。80年に帰国後は、フリーの振付家として『顔のない女』『ディ・テンツァリン』『ホフマン物語』『追憶』『真夏の夜の夢』など多くの作品を発表。おしゃれで独特な感性に彩られた作品は、古典・創作を含め各地で好評を得ている。またローザンヌ国際バレエコンク

ール、米国ジャクソン・コンクール、ヴァルナ国際バレエ・コンクールなど数多くのコンクールで審査員を務めた。87年大阪文化祭奨励賞、99年愛知県芸術文化選奨文化賞、2008年名古屋市芸術特賞、第24回橘秋子賞特別賞、第67回舞踊芸術賞を受賞。20年9月死去。

【Contact 振付】木下嘉人 KINOSHITA Yoshito



京都府出身。寺田バレエ・アートスクールで寺田博保のもとバレエを始め、キエフ国立バレエ学校で学ぶ。2006年セルジュ・リファール国際バレエコンクールシニアの部第3位。ドネツク・バレエにてワジム・ピーサレフに師事し、チューリングゲン・バレエ、ライプツィヒ・バレエ、ザルツブルク州立劇場バレエ団でソリストとして活躍した。15年に帰国し新国立劇場バレエ団にファースト・アーティストとして入団。16年ソリストに昇格。18年「こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』」で主役デビューを果たし、その他にも、マクミラン『ロメオとジュリエット』マキューシオ、『マノン』レスコー、『白鳥の湖』道化、ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル／白ウサギ、中村恩恵『火の鳥』タイトルロールなど主要な役を踊っている。

【カンパネラ 振付】貝川鐵夫 KAIKAWA Tetsuo



兵庫県出身。平櫛バレエ姫路、潮田弘子バレエ研究所を経て、ワガノワバレエ学校に留学し、1998年卒業。99年モナコ・プリンセスグレース・アカデミーに留学。2000年新国立劇場バレエ団に入団し、04年ソリスト、11年ファースト・ソリストに昇格。『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンデレラ』主役のほか、石井潤『カルメン』ホセや、マクミラン『ロメオとジュリエット』ではパリス、キャピュレット卿、ティボルトを演じるなど、幅広い作品で重要な役柄を踊る。NBJコレオグラフィック・グループでは意欲的に作品を発表し、『フォリア』が16年「ニューイヤー・バレエ」でも上演されるなど、振付家としての活躍も期待される。主な受賞歴に、96年こうべ全国洋舞コンクール・バレエ男性ジュニアの部第2位、12年姫路市芸術文化奨励賞など。

【ペンギン・カフェ 振付】デヴィッド・ Bintley David BINTLEY



英国ハダーズフィールド生まれ。英国ロイヤルバレエ学校で学ぶ。1983年から93年の間、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエや英国ロイヤルバレエの振付家として活躍。その見事な振付はアシュトンやマクミランの流れを引く。93年にフリーランスになった時には、世界中の7カンパニーから新制作依頼が殺到した。その中にはミュンヘン・バレエの『コンプリート・コンソート』（94年）、シュツットガルト・バレエ団のために振付けた『エドワード2世』（95年）などがある。95年から2019年までバーミンガム・ロイヤル・バレエ芸術監督を務める。その後も『アーサー王』『美女と野獣』『シラノ』『テンペスト』などの新しい作品を創作している。『E=mc²』は2010年にサウス・バンク・ショー・アワードを受賞、またローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされた。01年大英帝国勲章（CBE）を受勲。10年から14年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、新国立劇場バレエ団のために08年に『アラジン』、11年『パゴダの王子』を振り付け、好評を得た。

【指揮】富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤル・バレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』を指揮した。今シーズンは『眠れる森の美女』『コッペリア』も指揮する予定。

【カンパネラ ピアノ演奏】山中惇史 YAMANAKA Atsushi



東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。作曲を嵯峨富美子、安良岡章夫、鈴木純明の各氏に師事。2013年ユーロアジア国際コンクール課題曲として作曲した「Danza」がコンテストによって初演され、公式伴奏者も務めた。「JR 岡崎駅イメージソング」など、出身地である岡崎市への楽曲提供も数多く行う。令和元年度第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門にて『風三章』（詩・茨木のり子）で第1位を受賞。これまでにピアノを森陽子、山泉薫、菊地裕介、白石光隆、安野直子、江口玲の各氏に師事。共演者としても絶大な信頼を置かれ、上野耕平、漆原啓子、ピエール・アモイヤル各氏をはじめ国内外のアーティストと共演を重ねる。2014年、小川響子氏とのデュオで第2回デザインK国際音楽コンクールにてグランプリ受賞。編曲の分野に於いても担当したアーティストはクラシックからポップスまで幅広い。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。メディアではNHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、TBSラジオ「文学の扉」、NHK「クラシック音楽館」、「ムジカ・ピッコリーノ」、日テレ「嵐にしやがれ」などに出演。2020年に高橋優介とのピアノデュオ『176』（アン・セット・シス）を結成。最新アルバムは「旅と憧れ」（2019）。

ダンサープロフィール



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.ブティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D. Bintley『アラジン』ランプの精・ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞。



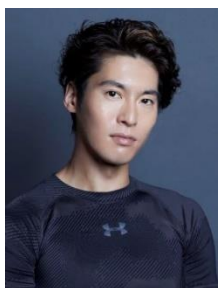
奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、13年『ドン・キホーテ』にて主役デビュー。16年よりプリンシパル。古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』ねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを初演している。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞。



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17, 19年ダンス公演中村恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



本島美和 MOTOJIMA Miwa <プリンシパル>

東京都出身。牧阿佐美、三谷恭三、豊川美恵子、ゆうきみほに師事する。豊川美恵子エコールド・バレエ、橘バレエ学校を経て2000年牧阿佐美バレエ団に入団、01年に新国立劇場バレエ研修所に第一期生として入所し、03年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。05年の新制作『カルメン』で初めて主役に抜擢され、『ドン・キホーテ』『ジゼル』『くるみ割り人形』、ビントレー『アラジン』、プティ『こうもり』などで数多くの主役を務めるほか、重要な役を踊る。出演したCMでの演技力が評価され、ACC CM フェスティバルの演技賞を受賞。11年プリンシパルに昇格。06年橘秋子賞スワン新人賞を受賞。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、中村恵『ベートーヴェン・ソナタ』ゲーテ/シラー、JAPON dance project『Summer/Night/Dream』ライサンダーなどを踊り好評を博している。



池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009 年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K バレエカンパニーを経て、16 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し 19 年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ドン・キホーテ』や F.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』などで主役を踊り好評を博している。



木村優里 KIMURA Yuri <ファースト・ソリスト>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15 年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』や F.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。19 年ファースト・ソリストに昇格。17 年舞踊批評家協会新人賞、20 年中川鋭之助賞を受賞。



福田圭吾 FUKUDA Keigo <ファースト・ソリスト>

大阪府出身。3 歳からケイ・バレエスタジオにてバレエを始める。同スタジオで矢上香織、久留美、恵子に師事。2001 年こうべ全国洋舞コンクール・バレエ男性ジュニアの部第 1 位、02 年ジャクソン国際バレエコンクールでスカラシップ、03 年ローザンヌ国際バレエコンクールでプロフェッショナル・スカラシップを受賞。同年英国バーミンガム・ロイヤル・バレエで研修し、06 年新国立劇場バレエ団に入団。09 年トワイラ・サープの『プッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ』でプリンシパルに抜擢され、好評を博し、19 年『アラジン』で主役を踊る。10 年ソリスト、12 年ファースト・ソリストに昇格。古典、現代バレエ、創作を問わず様々な作品で主要な役を踊っている。



中家正博 NAKAYA Masahiro <ソリスト>

大阪府出身。法村友井バレエ学校、ワガノワバレエ学校を経て、2010 年牧阿佐美バレエ団に入団。プティ『ノートルダム・ド・パリ』のフロロ役に抜擢され、『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『ジゼル』に主演。15 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、16 年『ドン・キホーテ』で主役のバジルを踊った。また F.アシュトン『シンデレラ』王子、P.ダレル『ホフマン物語』リンドルフ、W.イーグリング『くるみ割り人形』ドロツセルマイヤー、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ティボルト『マノン』ムッシューG.M.、M.フォーキン『ペトルーシュカ』ムーア人など様々な役を演じている。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <ソリスト>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015 年ヒューストン・バレエに入団、『くるみ割り人形』ロシアの踊り、 balan sin 作品などを踊る。15 年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、『ラ・バヤデル』黄金の神像、『くるみ割り人形』スペイン、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーン、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ベンヴォーリオ『マノン』乞食のリーダー、森山開次『竜宮 りゅうぐう』サメ用心棒、などを踊る。20 年『ドン・キホーテ』バジルで主役デビューを飾り、高い跳躍力や若々しい演技で注目を集めた。

※貝川鐵夫、木下嘉人のプロフィールはスタッフプロフィールをご覧ください。

公演概要

2020/2021 シーズン

新国立劇場バレエ団「ニューイヤー・バレエ」

パキータ / ソワレ・ド・バレエ / Contact / カンパネラ / ペンギン・カフェ

New Year Ballet

Paquita / Soirée de Ballet / Contact / Campanella / 'Still Life' at the Penguin Café

芸術監督 吉田 都
指揮 富田実里
管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

パキータ

振付 マリウス・プティパ
音楽 レオン・ミンクス
美術 川口直次
衣裳 大井昌子
照明 立田雄士

ソワレ・ド・バレエ

振付 深川秀夫
音楽 アレクサンドル・グラズノフ

Contact

振付 木下嘉人
音楽 オーラヴル・アルナルズ

カンパネラ

振付 貝川鐵夫
音楽 フランツ・リスト
ピアノ演奏 山中惇史

ペンギン・カフェ

振付 デヴィッド・ビントレー
音楽 サイモン・ジェフス
美術・衣裳 ヘイデン・グリフィン
照明 ジョン・B・リード

出演 新国立劇場バレエ団

協力 独立行政法人 国立科学博物館

【公演日程】

2021 年 1 月 9 日（土）14:00

2021 年 1 月 10 日（日）14:00

2021 年 1 月 11 日（月・祝）14:00

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

*ロビー開場は開演 60 分前、客席開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 2 時間 3 0 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/newyearballet/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	11,000 円	8,800 円	6,600 円	4,400 円	3,300 円	1,650 円

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィス別ウィンドウで開きますおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行発売日：12 月 6 日（日）10:00～8 日（火）

バレエ／ダンス先行メンバーズ販売期間：12 月 7 日（月）10:00～8 日（火）

一般発売日：12 月 13 日（日）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1 階 1 列～3 列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1 階 1 列～3 列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

<最大 20%OFF>新国立劇場の舞台をお得に観よう！

Go To イベントキャンペーンのお知らせ

本公演は、「Go To イベントキャンペーン」の対象となりました。「ニューイヤー・バレエ」公演のチケットを、お得な Go To イベントキャンペーン割引価格でお求めいただけます。割引額は 20%（上限 2000 円）。この機会をぜひご利用ください。

Go To イベントキャンペーンとは？

チケットの割引・クーポンの付与により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって甚大な影響を受けている文化芸術やスポーツに関するイベントの需要喚起を目的とした事業です。

経済産業省 Go To イベントキャンペーンページ：<https://gotoevent.go.jp/index.html>

Go To イベント価格

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席
料金（税込）	9,000 円	7,040 円	5,280 円	3,520 円	2,640 円

- チケット購入金額の 20%が割引額となります（最大 2000 円まで）。
- Z 席は対象外となります。
- アトレ会員割引、各種割引（当日学生割引を除く）との併用可。アトレ会員割引、各種割引適用後の価格から、Go To イベント割引額が引かれます。

例 1 アトレ会員で高齢者割引対象の方が S 席をご購入の場合

定価 11,000 円－1,650 円（アトレ割引 10%＋高齢者割引 5%）－1,870 円（Go To イベント割引）＝7,480 円

例 2 ジュニア割引対象の方が A 席をご購入の場合

定価 8,800 円－1,760 円（ジュニア割引 20%）－1,408 円（Go To イベント割引）＝5,632 円

購入方法

<Web ボックスオフィスでのご購入 <http://nntt.pia.jp/>>

①初めてご利用する方は利用登録（無料）をお願いいたします。

↓

②【Go To イベント】表示のある公演を選択

- 表示のない公演を選択された場合は Go To 割引は適用されません。

↓

③チケットを選び、同意確認画面で「同意する」にチェックをして決済に進む。

- 各種手数料はお客様のご負担となります。
- 12 月 1 日より高齢者割引、学生割引も Web ボックスオフィスをご利用いただけます。

<新国立劇場ボックスオフィス（電話）でのご購入 03-5352-9999（10:00～18:00）>

- 高齢者、学生、ジュニア割引以外の各種割引を併用される場合は、お電話でお申し込みください。
- 新国立劇場ボックスオフィス窓口では、Go To イベント割引チケットはお求めいただけません。

注意事項

【申込み時に以下の事項に同意を頂く必要があります】

本ページ記載の Go To イベント対象公演は需要喚起キャンペーン事業（Go To イベント事業）給付金給付規程に基づき実施される Go To イベント事業の対象として登録されたイベントの対象商品です。

Go To イベント事業の利用者は、同事業の対象商品の購入申込みをもって、Go To イベント参加規約（以下「規約」といいます。<https://gotoevent.go.jp/terms/>）の定めを（公財）新国立劇場運営財団との契約の内容とする旨を合意し、（公財）新国立劇場運営財団に対し、Go To イベント事業給付金の申請及び受領等を委任いたします。

なお、規約には、以下に掲げる事項が定められています。

- ① Go To イベント事業給付金の申請と精算に係る事項（給付金の申請と受領の委任に関する事項を含みます。）
- ② 対象商品を複数枚購入する購入者に関する事項
- ③ 個人情報の利用目的及び個人データの第三者提供に関する事項
- ④ 新型コロナウイルス感染症に関し、イベント参加者に遵守が求められる事項
- ⑤ 規約の変更に関する事項
- ⑥ その他 Go To イベント事業を利用するにあたり遵守が求められる事項等

- 1回のお申し込みにつき、5枚までお求めいただけます。
- 営利を目的としたチケットの転売は、いかなる場合もお断りいたします。
- 各種プレイガイドでの Go To イベント割引チケットの取扱いは未定です。決まり次第、ウェブサイト等でお知らせいたします。